

福祉型児童発達支援センター（たんぽぽ園）

医療型児童発達支援センター（すみれ園）



施設の方針

集団生活を通じて、明るく伸び伸びとした元気な子どもも、友達と一緒に遊べる子どもを育てます。

子どもは、様々な遊びを通じて発達していきます。センター生活の中では、設定遊び、自由遊び、個別指導、機能訓練などがあり、子ども達がその中で主体的に取り組み、発達していくように配慮しています。また、クラス集団の中で子ども同士が響きあえる場をつくり、遊びや人への意欲を高めています。基本的生活習慣については、生活の主人公となって、日々いきいきと暮らせるように、自分でやろうという気持ちを大切にしながら取り組んでいます。

施設長からの一言

たんぽぽ園とすみれ園は、まず可能性豊かな「子ども」であることを念頭において、療育をしています。その上で、個々の子どもの特性を理解して、必要な支援の方法を保護者と共に考え、進めています。

大切な乳幼児期に、子ども達が保護者の方と毎日安心して通園し、安全に楽しく遊びを展開できるような環境作りを心がけています。生活経験を積み重ねにくい子どもや、ことばや運動の発達が遅い子どもなどに、楽しみながら、自発的に意欲を高められるように小集団の保育環境を設定し、支援していきます。保護者には、子どもの特性と発達における理解を深め、子育てに見通しをもっていただけるよう、各種学習会を開催し、保護者同士の協働も大切にした活動を行っています。

その他

- ・毎月お誕生日会、発育計測、避難訓練を実施しています。
- ・月2回小児科、整形外科診察があります。
- ・原則として、通園バスで送迎しますが、自主通園（保護者と一緒に登園する）もあります。
- ・ことばや運動の発達に支援が必要と思われる子どもへの相談を随時受け付けています。
- ・アレルギーを持つ子どもには、除去食の相談に応じています。
- ・献立メニューに配慮の必要な子どもには、クラス担任や言語聴覚士と栄養士および調理員の検討のもと、特別食の工夫や偏食対応も行っています。食育も療育の大事な柱だと考えています。
- ・年齢により回数が違いますが、親子保育（保護者も保育に参加してもらう）があります。
- ・通園バスに乗って枚岡公園やドリーム21などへ出かけ、四季折々の自然の中で楽しく遊ぶ園外保育を実施しています。
- ・1年を通して、温水プールに入る事が出来、子ども達の体力作りを進めています。
- ・進路指導は、子どもの発達や家庭の状況に応じて相談を行なっています。進路を決める際には、保護者の充分な理解が得られるように、見学や体験、学習会、懇談会等を行なっています。

年間行事

- 4月：入園式
- 5月：親子遠足、保護者会行事、家庭訪問
- 6月：歯科健診・内科健診
- 7月：七夕祭り、夏祭り、プール開き
- 8月：プール遊び
- 10月：運動会
- 11月：日曜保育参加、親子遠足、内科健診
- 12月：クリスマス会
- 1月：正月遊び、餅つき大会（保護者会主催）
- 2月：節分豆まき、ごっこ遊び、お別れ遠足
- 3月：ひな祭り会、卒園式